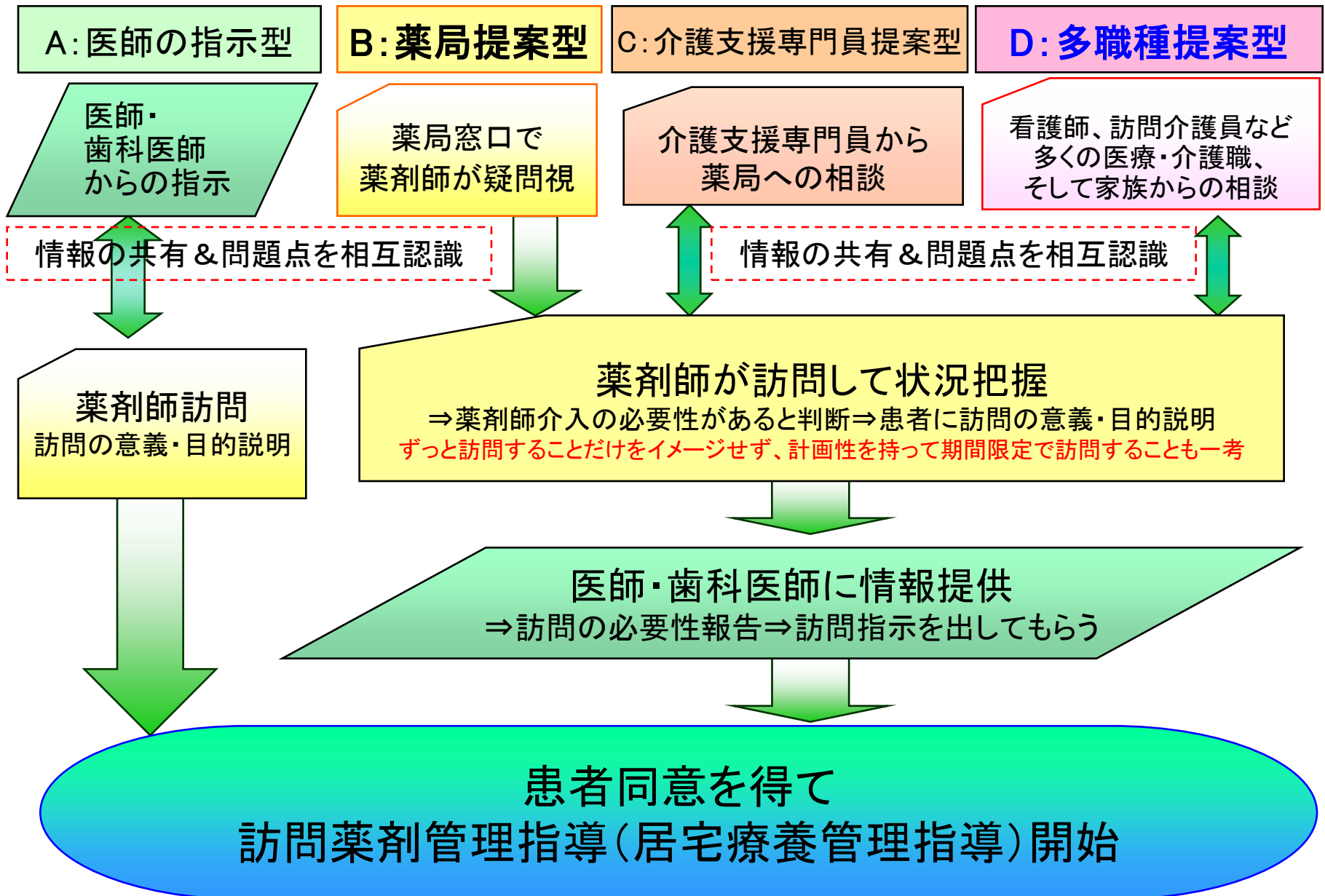


訪問薬剤管理指導の実施に至るパターン



訪問薬剤管理指導の開始までの経緯

	件数	割合
処方医から訪問依頼があった	395件	84.2%
患者本人が急に来局しなくなったため、薬剤師の判断をきっかけに訪問を開始した	0件	0.0%
患者の家族から依頼され、薬剤師の判断をきっかけに訪問を開始した	16件	3.4%
事前に患者宅を自主的に訪問し、薬剤師の判断をきっかけに訪問を開始した	6件	1.3%
その他（施設やグループホームからの依頼、訪問看護ステーションからの依頼 等）	48件	10.2%
無回答	4件	0.9%
合計	469件	100.0%

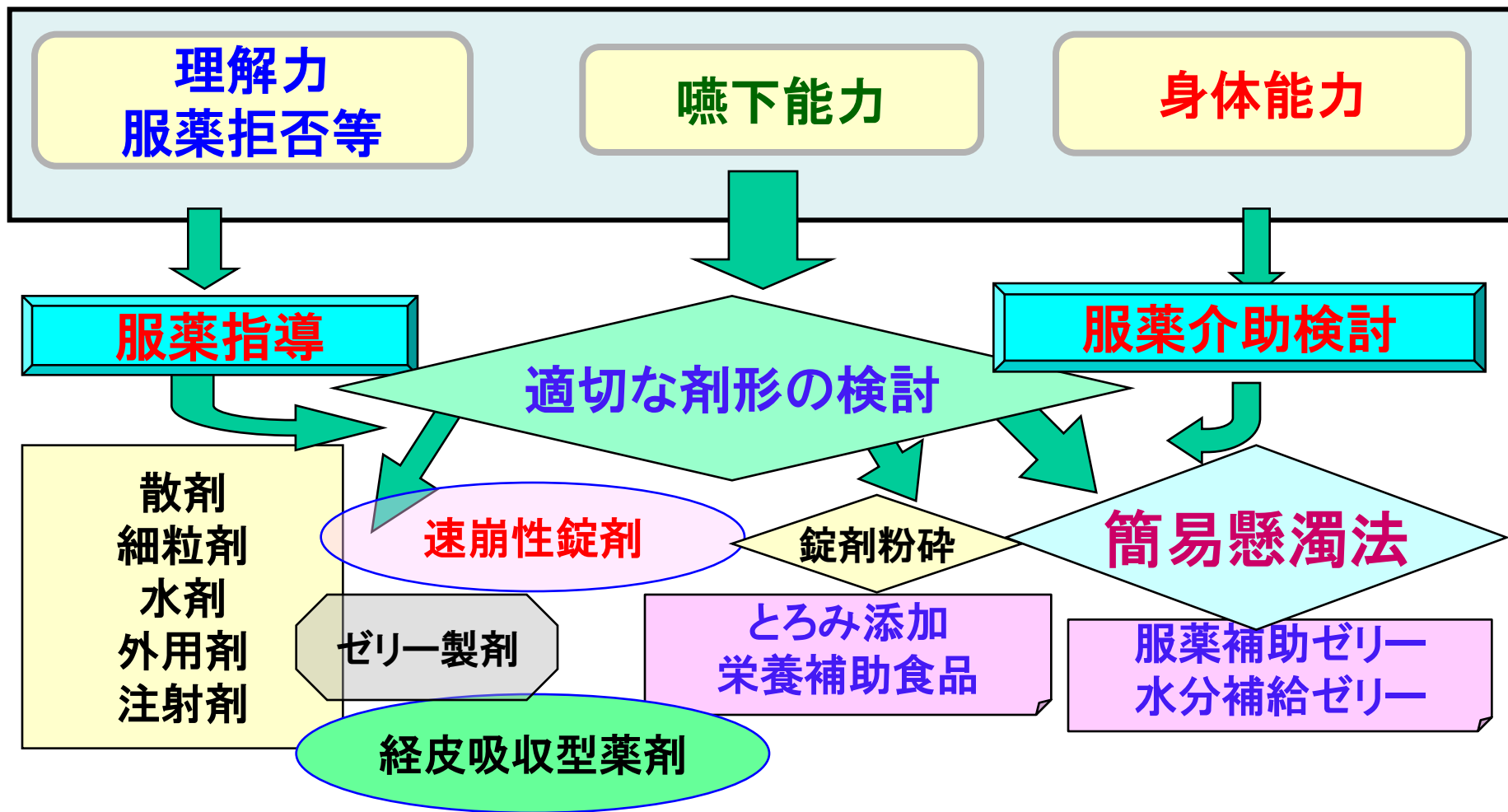
「後期高齢者の服薬における問題と薬剤師の在宅患者訪問薬剤管理指導ならびに居宅療養管理指導の効果に関する調査研究」（日本薬剤師会、平成20年3月）より

在宅医療における 薬局・薬剤師の主な役割

- 調剤(処方せん)
- 薬剤情報提供
- 服薬管理、服薬指導、服薬支援
- 服薬状況、効果、副作用等の確認
- 処方医への情報のフィードバック
- 麻薬の供給、管理
- 処方設計支援(剤形、用法、薬剤選択など)
- 多職種との情報共有、連携

服薬に関する因子の評価と計画の流れ

実際に服薬の場面に参加し、患者の服薬状況をより詳細に把握でき、評価と計画を行うことにより、適切な服用形態の選択へつなげることができる。



「薬剤師による食事・排泄・睡眠・運動を通じた体調チェック・フローチャート」(日本薬剤師会)〈抜粋〉

(社) 日本薬剤師会 高齢者・介護保険等検討会 2007年3月改訂

